

平塚駅周辺地区将来構想について

策定の背景と目的

平塚駅周辺地区では、近年、近隣都市への新しい商業施設の出店、郊外への大型店舗の出店や消費者のライフスタイルの変化等の要因により、商店街を取り巻く状況が変わり、買い物客や歩行者通行量の減少など、賑わいが失われつつあります。

そのような状況に対応するため、平塚駅周辺地区の**将来像(将来のあるべき姿)**を市と市民や事業者が共有し、**持続可能なまちづくりを実現するため**「平塚駅周辺地区将来構想」を策定することとなりました。

策定の考え方

「平塚駅周辺地区将来構想」の策定にあたっては、平塚駅周辺地区の現状や課題を踏まえ、**概ね20年後の将来像(将来のあるべき姿)**とその実現に向けた**方策**を検討していきます。

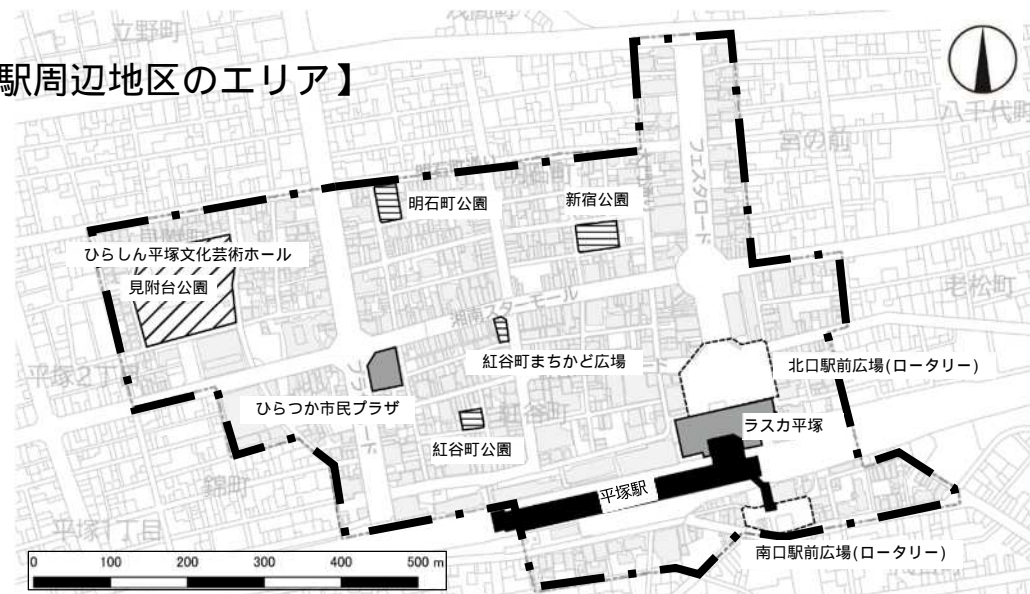
また、新しい都市づくりとしてデジタル化等の技術を取り入れたまちづくり(スマートシティ)や温室効果ガスの排出削減・吸収効果の増加(カーボンニュートラル)、自動運転社会等への対応の要素を取り入れ、実現するための方策を検討していきます。

令和4年度は、平塚駅周辺地区に求められる機能を検討します。令和5年度以降は、熟度を高めるとともに実現するための方策を検討し、令和6年度に策定します。

実現に向けて

「平塚駅周辺地区将来構想」を実現するため平塚市は、市街地の再整備に関する支援や公共施設の再整備の検討を進め**官民連携で将来像(将来のあるべき姿)を実現していきます。**

【平塚駅周辺地区のエリア】



方向性(想定)

「平塚駅周辺地区将来構想」の検討にあたり市民アンケートやデータの分析により把握した平塚駅周辺地区の現状や課題、市民ニーズ等を踏まえたうえで、買い物の魅力に加えて、ゆっくりと時間が過ごせる場、誰もが気軽に集まれ賑わいのある場などを官民連携による空間づくりを進めるために**考えられる次の9つの方向性を想定しました。**

【方向性(想定)と取組み例】

1 商店街・通りの個性を活かした魅力の重層性創出

例：デザインを統一した空間づくりによる通りごとの個性のアピール

2 賑わい・交流を創出するウォークブルネットワーク(歩きたくなるまちづくり)

例：駅前広場への芝生広場やペDESTリアンデッキの整備による人が集まり交流する場づくり

3 ニューノーマル(新しい生活様式)に合わせた都市機能の誘導

例：開発に合わせた広場の確保による開放的で安全な空間づくり

4 スマートシティ(デジタル技術を取り入れたまちづくり)と平塚発の新技术の活用

例：デジタルサイネージの活用によるまちの情報発信

5 再開発・建物の共同化等の推進

例：建物の共同建替えの推進による小さな敷地の老朽化した建物の更新

6 多様な活動を支える機能誘致と配置

例：建物の共同建替えによる様々な施設(都市機能)の誘致(まちの多機能化)

7 開発に合わせた緑の確保

例：開発に合わせたビルの緑化の推進

8 誰もが活動できるまち

例：見通しの良くバリアフリー化された公園の整備による安全・安心な空間の確保

9 グリーンインフラ(自然環境を活用したまちづくり)の活用による快適性・防災性の確保

例：道路への樹木の植栽や植栽帯の整備による木陰や雨水の浸透の場の確保